

「伊勢市観光振興基本計画（案）におけるパブリックコメント結果概要について

1 パブリックコメント実施の概要

(1) 意見募集した案件

伊勢市観光振興基本計画（案）

(2) 意見募集方法

広報いせ2月1日号、市公報、市ホームページ、市行政チャンネル文字放送

(3) 計画（案）の閲覧場所（20箇所）

- ・観光振興課、総務課、本館1階市民ホール
- ・各総合支所生活福祉課（二見、小俣、御菌）
- ・各支所（神社、大湊、浜郷、宮本、豊浜、北浜、城田、四郷、沼木）
- ・伊勢図書館、小俣図書館、伊勢市生涯学習センターいせトピア、伊勢市二見生涯学習センター、いせ市民活動センター

(4) 意見提出の対象者

伊勢市内に在住または通勤、通学している方など

(5) 意見募集の期間

令和4年1月18日（火）から令和4年2月18日（金）まで

2 意見募集の結果

2人の方から延べ13件の提出があった。

（提出方法：メール1名、窓口：1名）

3 意見の内容及び市の考え

	寄せられた意見	市の考え及び修正内容
1	<p>全体の印象が、護りの観光振興計画で、大きな観光需要は生まれない。</p>	<p>伊勢市特有の取組例を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>「4年後(2025年度)の伊勢市のありたい姿」の実現に向けて取り組む全体の達成状況を計る指標として計画の全体目標を掲げるとともに、観光施策の6つの基本方針を掲げています。今後4年間の間に、基本方針に基づく具体的施策を推進することで目標の達成を目指していきたいと考えています。</p>
2	<p>『伊勢市観光振興基本計画』の伊勢市を他の市町に変えてもわからないような紋切り型の計画で、独自性がみられない。</p>	<p>伊勢市特有の取組例を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>「4年後(2025年度)の伊勢市のありたい姿」の実現に向けて取り組む全体の達成状況を計る指標として計画の全体目標を掲げるとともに、観光施策の6つの基本方針を掲げています。今後4年間の間に、基本方針に基づく具体的施策を推進することで目標の達成を目指していきたいと考えています。</p>
3	<p>2026年のお木曳を前にした起爆剤になるような計画の位置付けになっていない。</p>	<p>伊勢市特有の取組例を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>新計画の期間は2022年度(4年度)から2025年度(令和7年度)であり、計画期間の最終年度となる2025年度(令和7年度)は、お木曳行事の直前となることを想定していることについて「計画策定の背景・目的」に位置付けています。</p>

<p>4</p>	<p>令和元年が最終目標ではないので、本計画期間で先ずは令和元年を超えていく計画策定が必要。</p>	<p>伊勢市特有の取組例を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>新計画の期間は2022年度(4年度)から2025年度(令和7年度)であり、現計画の最終目標年次は2021年度(令和3年度)となっています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により現計画の目標指標の達成は困難となった項目もありました。</p> <p>そのため、現計画における検証結果や、近年の社会動向や観光動向などの伊勢市を取り巻く観光の現状を踏まえた上でまずは4年後となる2025年度(令和7年度)を最終年度を目標とした計画を策定し、計画全体の目標を改めて位置づけております。</p>
<p>5</p>	<p>過去最高の平成25年遷宮の1400万人の観光客を呼び寄せる遷宮のような魅力ある計画が必要</p>	<p>伊勢市特有の取組例を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>平成25年は神宮(内宮・外宮)の参拝者数が約1,420万人となっていました。伊勢市観光の代表的な存在であり、主たる目的地となる神宮(内宮・外宮)の参拝者数は観光客による賑わいを図る重要な指標であると考えています。新計画では、観光動態調査等を勘案しつつ、コロナ禍前の賑わいへ再生を目指す目標数値として2025年(令和7年)に800万人の神宮参拝者数とすることを位置付けています。</p>

<p>6</p>	<p>具体には、大きなマーケットである隣国中国人（14億人以上）の観光客を誘致する計画が必要で、中国人のマーケットリサーチを行い、誘客 PR・キャンペーンを行う。（中国本土、香港、台湾）</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>ターゲット・目的に合わせた戦略的な情報発信は重要であると考えております。インバウンドの誘客に向けては伊勢市の魅力や価値への訴求力の高い欧米圏を中心に、デジタル・マーケティングの視点も取り入れた戦略的な情報発信・誘客PRを展開します。ご意見いただきました中国を含むアジア圏などの国や地域に向けては、伊勢志摩地域など広域の連携で誘客に取り組みたいと考えています。</p> <p>具体的なターゲットについては、その時々为社会情勢等を考慮し、効果的な成果が得られる国や地域を適時設定することとしております。</p>
<p>7</p>	<p>本計画年次では、イギリスに遊びに行くより、先ずは中国をターゲットに観光バブルを誘発させるような計画を策定すべき。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>ターゲット・目的に合わせた戦略的な情報発信は重要であると考えております。インバウンドの誘客に向けては伊勢市の魅力や価値への訴求力の高い欧米圏を中心に、デジタル・マーケティングの視点も取り入れた戦略的な情報発信・誘客PRを展開します。ご意見いただきました中国を含むアジア圏などの国や地域に向けては、伊勢志摩地域など広域の連携で誘客に取り組みたいと考えています。</p> <p>具体的なターゲットについては、その時々为社会情勢等を考慮し、効果的な成果が得られる国や地域を適時設定することとしております。</p>

8	KGIの目標値の指標と数値が適切か KPIは？	<p>P18、P33に目標値の考え方について補足説明を追記します。</p> <p>【その他の市の考え】</p> <p>計画期間の最終年度となる令和7年度(2025年度)の伊勢市のありたい姿の実現に向けた取り組み全体の達成状況を計る指標として詳しくは第4章「2 計画の全体目標」でお示しし、3つのKGI(重要目標達成指標)を位置付けています。KPI(重要業績評価指数)については、「第5章 伊勢市の観光施策」においてお示した6つの基本方針毎に定めております。</p> <p>なお、「第6章 計画の推進・実現に向けた推進体制」においてお示したとおり、計画策定段階では、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立っていないこともあり、目標指標を含め計画の見直しの必要性についても継続的に検討していきたいと考えております。</p>
9	人材育成は観光需要が大きくなれば自然に育成される。	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>第5章「基本方針6 市民・地域の「おかげさまの心」の醸成と連携の強化」でお示したとおり、地域が一体となって観光客を迎え入れる観光地として発展し続ける、持続可能な観光の推進のためには、住む人も訪れる人も双方が心地よく過ごし満足できるまちにしたいと考えています。</p>

10	<p>テレワーク・サテライトオフィス等を誘致するなら一定期（EX:6か月～1年）間無料で誘致する気概が必要あり。伊勢産業支援センターとのタイアップ等も考えるべき。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>観光消費に繋げるため宿泊施設の高付加価値化などにより滞在時間の延伸を図ることは重要であるとと考えております。テレワーク等の誘致促進のための一定期間の無料化などの長期滞在化に向けた具体案については、第5章「基本方針3 産業視点で観光の推進」を推進するための具体的な事業展開のアイデアとして観光・商工ともに情報を共有し、今後の施策立案時の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>三重県には首都圏や関西圏にも事務所があり誘致を促進させるアプローチが必要。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>観光誘客や観光コンテンツ作成の開発において、三重県や周辺自治体と連携した取り組みは重要であるとと考えております。</p> <p>第5章「基本方針5 「共生と競争」の視点での連携の推進」でお示したとおり、今後も国や県、伊勢志摩地域全体で連携した誘致・受け入れの推進に取り組みたいと考えております。</p>
12	<p>クリエイターズ何々は募集者が多種多様で焦点が曖昧になり需要拡散には至っていない。例えばハロウインのコスプレの募集を行い、写真審査を経て、ハロウイン前に伊勢に集約する（宿泊経費を1週間伊勢市持ち）、ハロウイン時は東京 渋谷への旅費と宿泊費の賞品とする。世界中に募集する。単年ではなく10年続ける。</p>	<p>現行のままとします。</p> <p>【理由】</p> <p>観光消費に繋げるため宿泊施設の高付加価値化などにより滞在時間の延伸を図ることは重要であるとと考えております。長期宿泊促進のための一定期間の無料化などの長期滞在化に向けた具体案については、第5章「基本方針3 産業視点で観光の推進」を推進するための具体的な事業展開のアイデアとして、今後の施策立案時の参考とさせていただきます。</p>

13	朝熊に客を呼べないか？徳川家康の第6子松平忠輝が元和2年朝熊に配流された。この時キリシタン70万人の希望の星であった。この流れが今も残っているなら、各派に働きかけても良いのではないか。	現行のままとします。 【理由】 歴史や文化など様々な地域資源を発掘し、磨き上げることは市内観光地の分散を図る上でも重要であると考えております。また、朝熊エリアは多くの観光客を迎え入れてきた歴史を有し、朝熊山にいたるまでの近畿自然歩道などを生かした周辺の地域資源の掘り起こしなども重要と考えています。 今後も地元を中心としたナショナルパークとしての特徴を生かした観光振興事業を展開したいと考えておりますので、お寄せいただいた情報について、情報共有しながら活用について検討を深めてまいります。
----	--	---